

# ワールド ウッド トレンド

No. 8, 5 SEP 2014



## ロシアの2013年原木輸出量 7%増加

2013年のロシアの原木(HSコード:4403)の輸出量、輸出額は、それぞれ1,904.9万m<sup>3</sup>、1,641百万米ドルにのぼり、前年比それぞれ7.2%、7.6%増加している。ロシアの原木の平均輸出額は、通関ベースで1m<sup>3</sup>当たり86.1ドルであり、前年と比べて1%下落した。ちなみに、同年の立木伐採量は、前年比2.8%少なかった。

原木輸出のうち、関税協定非締結国への輸出量、輸出額は、それぞれ1,848.9万m<sup>3</sup>、1,601百万米ドルにのぼり、前年と比べてそれぞれ7.9%、7.7%増加している。また、関税協定締結国への輸出量は、56万m<sup>3</sup>で原木輸出全体の3%しか占めていないが、前年比6.8%増加している。

ロシアの2013年原木輸出実績

	実数	前年比 (%)
輸出量 (万m <sup>3</sup> )		
計	1,904.9	7.2
関税協定非締結国向け	1,848.9	7.9
関税協定締結国向け	56.0	6.8
輸出額 (100万USドル)		
計	1,641	7.6
関税協定非締結国向け	1,601	7.7
関税協定締結国向け	40	0

原木輸出量を仕向国別にみると、中国はいままでと同様に最大の仕向国であ

るが、前年比 11%減少の 765.7 万 m<sup>3</sup>となっており、原木輸出量に占める割合も 54%まで下落した。

フィンランド向けの原木輸出は、451.2 万 m<sup>3</sup>にのぼり、前年比 49%増加しており、原木輸出量の 32%を占めている。スウェーデン向けの原木輸出は、前年と比べて 1.8 倍増加し、70.3 万 m<sup>3</sup>に達している。また、韓国、日本、ドイツ向けの原木輸出は、それぞれ 63.1 万 m<sup>3</sup>、19.5 万 m<sup>3</sup>、4.5 万 m<sup>3</sup>となっている。

ロシアの 2013 年原木輸出量実績（仕向国別）

	輸出量 (m <sup>3</sup> )	前年比 (%)	輸出額 (1000US ドル)
中国	7,657,306	-11	1,065,974
フィンランド	4,512,222	49	315,770
スウェーデン	703,134	1,8 倍	60,156
韓国	631,123	- 3	80,452
日本	194,666	- 9	34,852
ドイツ	44,693	15	4,199
イラン	536	-73	95

特記すべきことは、イランへの原木輸出が著減している。その原因は、イラン側の植物衛生上の必要条件が厳しくなっていると指摘されている。2011 年 7 月には、「イラン・イスラム共和国の植物病虫害防除機構とロシア連邦の動植物衛生監督事務所の協力、ならびにロシア連邦からイラン・イスラム共和国の領域への木材輸出の協力に関する覚書」が署名され、有毒化学薬品・臭化メチルによる素材への消毒作業が、室内で、および冬季中に制限されている。このような防疫処理が現実にはできないため、2013 年には、アストラハン港でイランへの輸出を待つ原木が山積みになっていた。

このような貿易障害を取り除くため、2013 年 11 月に、イラン・イスラム共和国の植物病虫害防除機構の代表団との会合が行われた。イラン側との会合で、イラン側は、防疫処理の方法として熱処理を受け入れることとなり、追加条項として上記覚書に加えることで合意に達した。その追加条項は、臭化メチルだけでなく、乾燥あるいは熱処理の後の製材品に植物検疫証明書を出すことを可能にするであろう。

(本文は現地レポートを基に編集したもの)